

令和 6 (2024) 年度 わかば福祉会 日野わかば保育園 事業報告書

令和 6 年度は、感染対策として、職員のマスク着用・登降園時の手洗い・スリッパの履き替え・食事は同一方向で黙食・空気清浄機と加湿器稼働により、大量感染は無く平年並みの発症率でコロナ・インフルエンザ・胃腸炎の感染抑えられました。

わかば保育園ならではの保育環境として、コロナで手が回らなかった東山の遊歩道整備と樹木剪定をしアスレチック網登りから長い滑り台までが整備が出来、園児が活発に遊びました。

衛生委員会で指摘された職員の勤務環境の改善として職員室の椅子入替えて快適化が計れました。

保育関係の ICT 化を進めました。

- ① 日野市が請求にキッズコネクトを採用し、メーカー・市・当園の連携でほぼ日野市従来書式の請求額とキッズコネクトの請求額が一致するようになり、日野市は R7 年度から完全実施の予定になりました。
- ② 保育は当園が降園管理を長らく実用実施して来たキッズビューを、日野市公立も採用し当園と市が共通になりました。

保育年間計画は 1 年 3 期制を継続したいことから園独自プログラムの ICT で実施し、ナス(小型の園内共用の記憶装置)も活用し、情報の管理と共有化も向上した。

- ③ 勤務管理はアマノと連携し給与ソフトと連携し 2 月から試行、令和 7 年度から完全実施に進める準備が完成しました。

園児の「生きる力」とその基になる「主体性」が成長できる前提となる職員の主体性による保育を、個々保育・マーチング・一斉保育等の保育方法・保育環境で進めました。

利用定員 110 名の保育を予定しましたが、在園児と障害加配対象児になる園児保育も考慮し、不補充し在籍 100 名の保育を行いました。

追加事業として、① BCP を活用し易い小型で作成しました。② 非常電源を都の補助を受け設置 8 kw/h を設置して電灯・火災報知器等全然設備・通信等 100 V ・給食冷蔵庫等の稼働が可能になりました。③ 山田園長が再編成をした日野市公民交流の初代委員長を務めました。④ デイリープログラムの再検討をしました。⑤ カスタマーハラスメントを日野市の公立保育園用の文を基本に重要事項説明書の中に入れて作成し、保護者の理解を進めました。⑥ ビオトープ準備として水路の清掃をしました。

以上